

(6) 市町村目的別歳出決算分析表 (住民一人当たりのコスト)

平成28年度

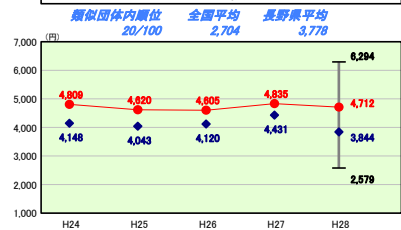
長野県下諏訪町

人口	20,744人	(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	20,476人	(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
面積	66.87km ²		実質公債費比率	0.5%
歳入総額	8,326,929千円		実質負担率	94.9%
歳出総額	7,971,481千円		市町村別	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2
実収支	346,631千円		(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2
標準財政規模	4,804,436千円			

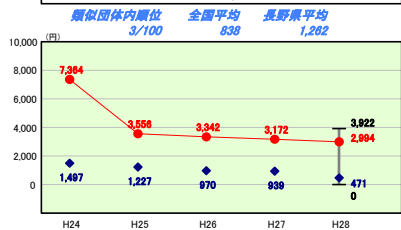
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
↑ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

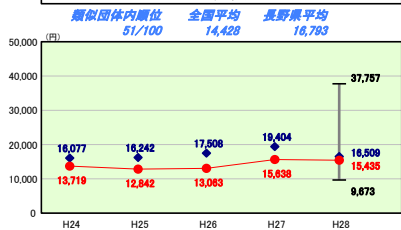
議会費



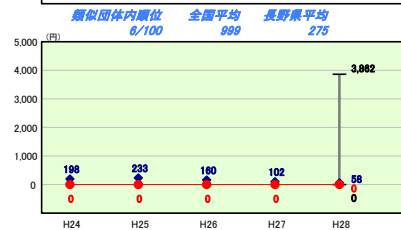
労働費



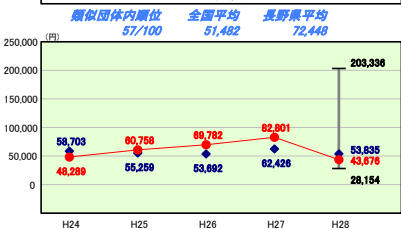
消防費



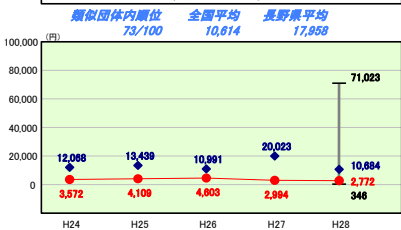
諸支金



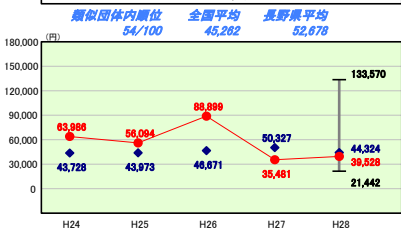
総務費



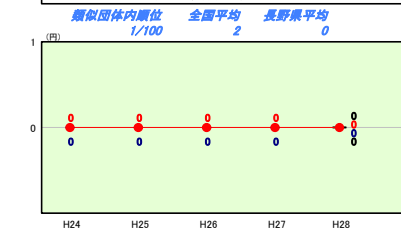
農林水産業費



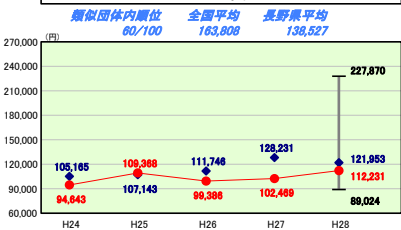
教育費



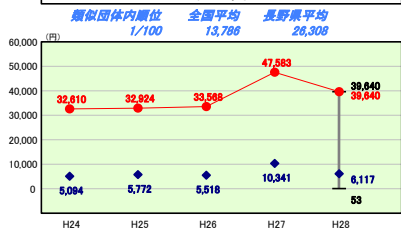
前年度繰上充用金



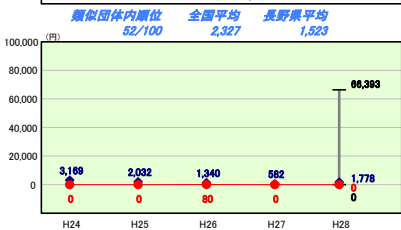
民生費



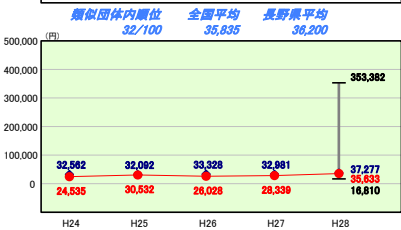
商工費



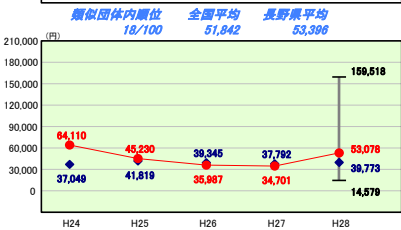
災害復旧費



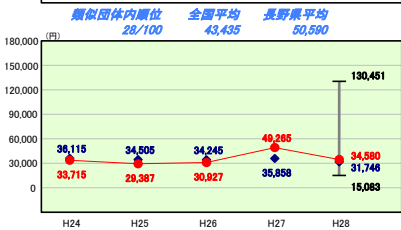
衛生費



土木費



公債費



目的別歳出の分析欄

類似団体と比較して14項目中10項目については概ね同程度の数値となっている。他団体との差が見られる項目については、以下の要因によるものとする。農林水産業費については、町の土地が狭小であり、産業構造を見ても第1次産業1.4%、第2次産業37.9%、第3次産業60.7%と第1次産業の比率が非常に低い。他団体に比べ低い値となっている。労働費については、勤労者の生活安定や中小企業等の円滑な資金調達のための各種融資制度の充実により他団体を大きく上回っている。商工費については、当時の自然や歴史、温泉といった豊かな観光資源を活用した各種観光施策の実施も影響して、高い水準を維持しているものと思われる。

年度の推移で特徴的なところとしては、総務費については平成25年度以降増加してきているが、これは平成25年度から平成27年度において実施した災害発生時の復旧・復興の中核となる庁舎の耐震改修事業による影響が大きく、事業が終了した平成28年度においては、類似団体並の数値となっている。教育費が平成26年度から平成27年度において53,418円減少している理由としては、児童生徒の安心安全な教育環境を確保するため、現行の建築基準法の耐震基準に満たない老朽化した小学校の改築事業の終了に伴う減、商工費が平成28年度において前年度比7,943円の減となっているのは、平成27年度において御柱の歴史等を体験・体感できる施設の整備を行ったためである。